

EAST-東

No.1 PAR 5

OBライン
レッドペナルティーエリア

● BT	478
● RT	457
FT	427
	401
● GT	386
● LT	386
● PT	302

100y
150y
200y
250y

※吹き流しまで
● 180y
● 186y
● 193y
● 150y
● 157y
● 164y
● 190y
● 220y
● 240y

※バンカー越え
● 193y
● 220y
● 250y
● 270y

OBの場合:プレイング4

EAST-東

No.2 PAR 4

● BT	465
● RT	445
FT	395
● GT	355
● LT	355
● PT	310

100y
150y
200y
250y

※吹き流しまで
● 145y
● 190y
● 190y
● 230y
● 285y
● 305y

OBの場合:プレイング4

EAST-東

No.3 PAR 4

● BT	401
● RT	382
FT	362
● GT	328
● LT	328
● PT	248

100y
150y
200y

※吹き流しまで
● 130y
● 204y
● 204y
● 238y
● 260y
● 279y

※バンカー越え
● 130y
● 130y
● 164y
● 186y
● 205y

OBの場合:プレイング4

ホール紹介 & 攻略ポイント

やや左ドッグレッグで距離の短いサービスロングホール。右サイドは山からOB、左サイドはセーフとなるが、左へ落とすとトラブルになるので狙い目はフェアウェイ右サイド。グリーン手前40yにガードバンカー。グリーン左横は斜面なのである程度は落ちてくる。グリーンが小さく、奥からのアプローチは下り傾斜で非常に難しい。
※セカンドショットはブラインドになる為、打ち込みに注意してください。

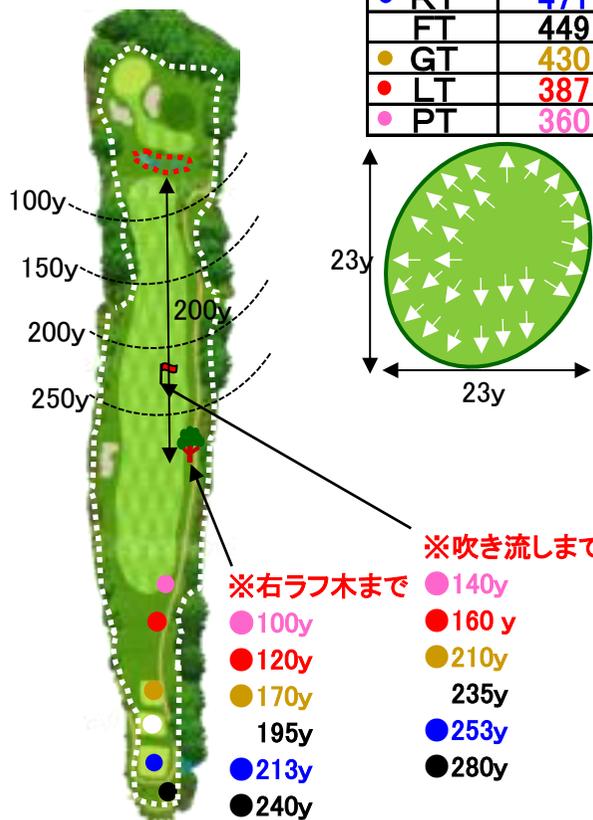
距離の長いストレートなミドルホール。グリーンが小さい為、パーオンは至難の業。左クロスバンカーまでは、全体が右傾斜しているのでベストルートはフェアウェイ左サイドだが、左クロスバンカー横は崖ですぐにOBなので注意。安全に右ラフに打つと残り200yの木がスタイミーになる場合がある。左手前花道からのアプローチで如何に寄せていけるかがポイント。グリーンは受けており、奥からのアプローチは下りで難しい。

フラットでストレートなミドルホール。コース幅は広いが、左右OBに注意。フェアウェイセンター右サイドからの方が、バンカー越えにらず花道を使える。ピン位置によるがグリーンは左から右に傾斜している為、アプローチは右手前からの方が寄せやすい。
※ブラインドホールの為、打ち込みに注意してください。

EAST-東

No.4 PAR 5

● BT	505
● RT	471
FT	449
● GT	430
● LT	387
● PT	360

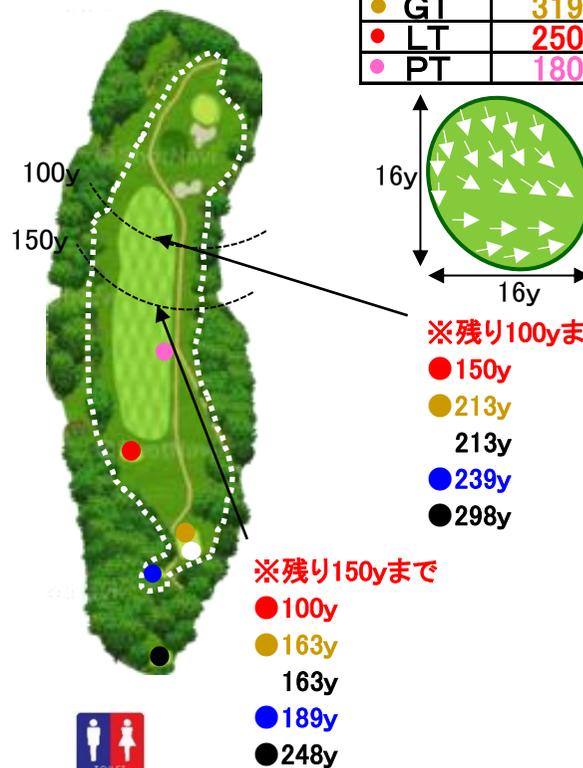


OBの場合:プレイング4

EAST-東

No.5 PAR 4

● BT	401
● RT	342
FT	319
● GT	319
● LT	250
● PT	180

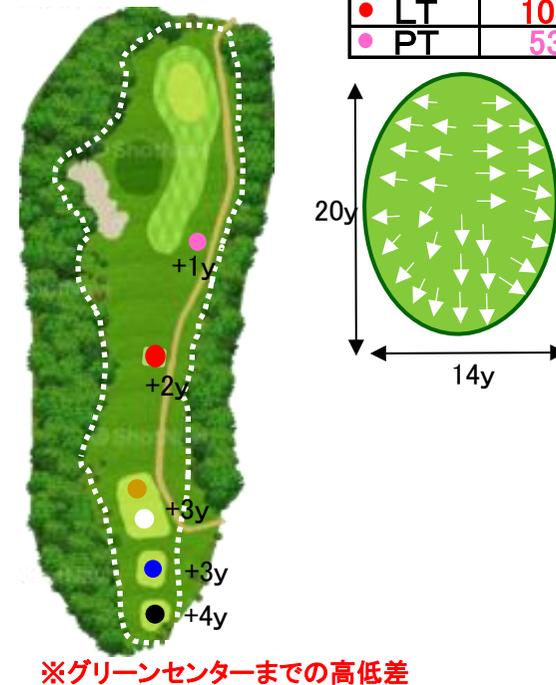


OBの場合:プレイング4

EAST-東

No.6 PAR 3

● BT	191
● RT	176
FT	158
● GT	148
● LT	105
● PT	53



OBの場合:プレイング4

ホール紹介 & 攻略ポイント

やや距離の短いロングホール。左右OBだが、コース幅は広い。2オンを狙う場合はフェアウェイセンターから右サイドが良い。残り60ヤード地点にクリークが横切っている。右ラフの1本木からクリークの手前まで200yだが、下り傾斜で転がる分を計算してレイアップすること。グリーンは軽い砲台でセンターから左奥に向かっては下り傾斜になっている為、球が止まりにくい。グリーン左と奥はすぐにOBとなっているので注意すること。

ティーショット打ち上げでBTを除いては距離短めのミドルホール。狙い目は照明とカート道の間。右サイド斜面はある程度は球が落ちてくる。左サイドは見た目よりは広いが、強めのフックボールは危険。全ホールの中でグリーンが一番小さく砲台グリーン。更に手前ガードバンカーが良く効いている為、止まる球が要求される。80y~100yのウェッジのフルショットを残すのがベスト。

●ブラインドホールの為、前組のカートが完全に消えてからティーショットの準備をお願いします。但し、自身の飛距離を十分に考慮しロングヒッターは最後に打つようにしてください。

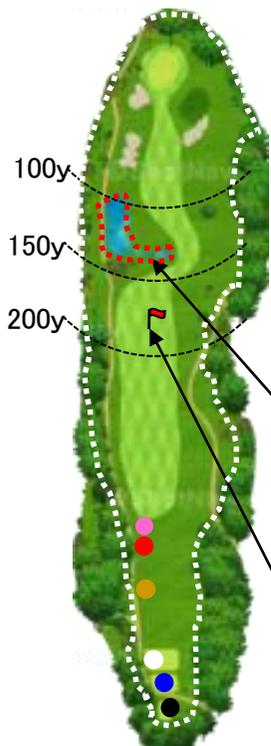
やや打ち上げのショートホール。グリーンの横幅が14ヤードの為、全ショートホールの中で最もグリーンオンの確率が低い。グリーン左横に外すとアプローチが難しい。花道から右手前が寄せやすいエリアとなっている。

EAST-東

No.7

PAR 4

● BT	447
● RT	427
FT	412
● GT	366
● LT	317
● PT	310



※クリークまで

- 184y ● 177y
- 280y ● 231y
- 318y ● 296y

※吹き流しまで

- 134y ● 127y
- 230y ● 181y
- 268y ● 246y

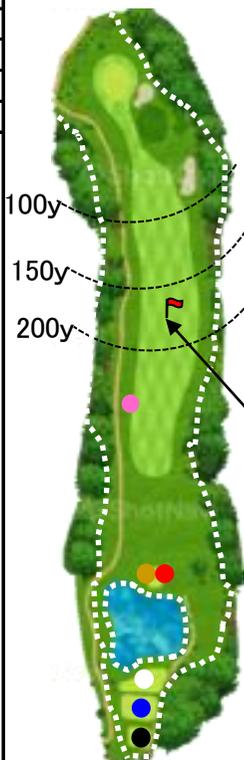
OBの場合:プレイング4

EAST-東

No.8

PAR 4

● BT	448
● RT	427
FT	407
● GT	340
● LT	340
● PT	257



※吹き流しまで

- 161y
- 161y
- 230y
- 250y
- 270y

OBの場合:プレイング4

EAST-東

No.9

PAR 3

● BT	189
● RT	171
FT	154
● GT	125
● LT	125
● PT	58



※グリーンセンターまでの高低差

- ±0y
- ±0y
- ±0y

OBの場合:プレイング4

ホール紹介 & 攻略ポイント

ティーショットが打ち下ろして距離の長いミドルホール。クリークまでは見た目よりしっかり距離があるのでドライバーの選択で良い。左サイドは斜面で受けているが、右サイドはOBラインが迫り出して来ている。距離的にパーオンはなかなか難しい為、3打目勝負となる。セカンドショットは、左足下がりからクリークが微妙なプレッシャーを与えてくるので右サイドにレイアップしていこう。グリーンは手前半分が受けおり、奥半分は左を除いてフラット目の傾斜となっている。

No.7に続き距離の長いタフなミドルホール。ティー前にOB池があるが、問題はないだろう。コース幅は広いので豪快にフルスイング。3打目に集中して寄せていこう。グリーン左に外すと逆目のライからのアプローチが難しい。

最終ショートホール。左斜面上はOB。地形から風の影響をまともに受ける為、アゲインストの場合は、低く強い球が要求される。グリーンの傾斜からアプローチは左サイドよりも右サイドからの方が寄せやすい。グリーン奥からは、砲台打ち上げのアプローチとなりかなり難しい。グリーン右端の部分は傾斜で外にこぼれやすい設計となっている。